

佐藤鐵工所の偉容 地方屈指の大工場



(氏吉源藤佐)



(部一の作工機所の作製工鐵藤佐)

各方面から應じ切れぬ程の注文二千万圓現在では二十万圓を要が入り込んで来るやうなつた(津原藤橋、古河炭礦探炭鈴木氏は外交やお世辭の人では、磯原藤橋、平、磯原間)常にお世辭を盡し職工の誇耀は全部鈴木氏の誇耀)交つて働いてゐる人である。等々大倉、炭、鐵道方面の技術優秀な経営者が一々手にか、大任事は殆んど鈴木氏が作り上げる製作品であるし、材料騰貴けたものである。今日では製鋼等の關係で假令如何に損失を招方面に於て東北屈指の大事業者等も契約は厳として履行し決である同氏は皆で恩義を忘れたして「コボさぬ」といふ情熱な鈴木氏が常に恩人に對し感謝の如何なる大工事に對しても全信など今の世の龜とすべきである。日光の幸橋(當時工費四)

一大飛躍を期待される 責任平市板金加工組合 既に一萬圓の共同生産

平市板金加工組合は田中宣治氏等の努力奔走により主務省から認可され組合員卅二名、出資總額四千圓(四分の一拂込)で昨年三月三十日創立を見た。直ちに假共同作業場を設け重要輕工業を開始した結果約一年間一萬圓の生産をなすに至つたが過般商工省から三千五百圓の補助があつたので平市新川町西側に共同作業場を建設し切斷機、プレス機、旋盤機、ボール盤、研磨機等諸機械を揃ひ愈々本格的な生産に乗り出す事となり田中組合長、菊田事務理事以下役員、組合員一同大いに張り切つてゐる。

恬淡磊落な技術者 鈴木鐵工所主



(氏鐵木鈴木鈴)

平市大工町十五番木鐵工所主鈴木見逃してはならぬ。大正十二年木鐵藏氏は組合員中立志傳中の平市に來て以來、性格の眞面目人である、今日の成功を彼氏に

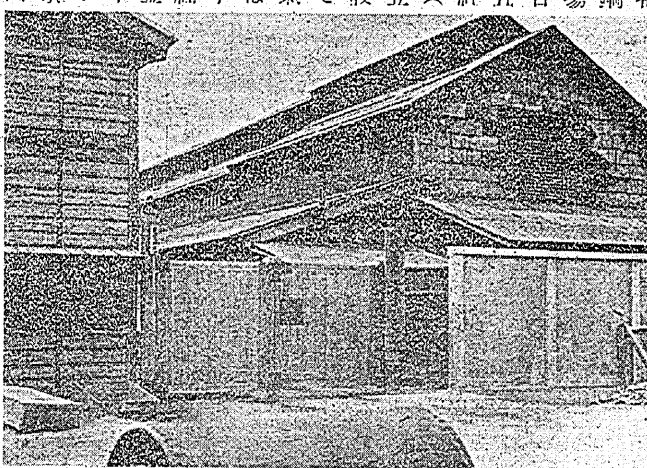


(同一部幹組合工加金板平)

耐さしめた所以は、鈴木氏が勤勉正直、性格が極めて眞面目な点に負ふ所あるは言を俟たないが、鈴木氏は製鐵技術に於て天才的な技能の持ち主であつた事も然一家族の如き親和を以て業務に従事してゐる賜と見る可く將來を期待されてゐる。現役員左の如し。

- ▲理事長 田中宣治
- ▲事務理事 菊田万吉
- ▲理事 飯澤次、新妻實、吉田留治、菅波三郎
- ▲監事 加藤文之助、天野幸之助

阪神電氣製鋼平工場 一年の生産六十萬圓



(場工物鋼部一の場工平所鋼製氣電神阪)

平市室の前四番地阪神電氣製鋼株式會社平工場は本年四月一日資本金十八萬五千圓の合資會社(昭和十一年創立)を買収して設立されたものである。阪神電氣製鋼株式會社は兵庫縣西宮市今津真砂町に本社を有する資本金三百十八萬五千圓の全國屈指の大會社で、東京市京橋區銀座四丁目目に營業所を有してゐる。機等を有し百余名の従業員を有する電氣製鋼専門の工場である。社長は長谷川正一氏である。昭和十二年の生産高は二十餘萬圓と云はれてゐたが、阪神電氣製鋼株式會社の投資により十三年度の生産高は一躍六十四萬圓の生産高を示すに至つたと云はれ將來平市電氣製鋼株式會社として期待をかけるものである。

鐵工業發達の裏面に 隠れたる恩人諸橋氏



(氏郎太久橋諸)

平市の重工業が今日の隆昌を見るに至つた裏面に、平市鐵工業組合顧問諸橋商店諸橋久太郎氏の存在が極めて

鑄物専門の工場 武藏鐵工場



(氏吉山道)

平市通小九番地遠山山道氏は二十四年前平市で鑄物工場鐵工業組合の理事で會計を開設し現在の武藏鐵工場を勤めてゐる。

三瓶電機商店製作部 鑛山用機械専門に作製



(部内の部作製店商氣電瓶三)

平市仲町十八番地三瓶電機商店製作部は三瓶嘉久也氏の個人經營である、三瓶氏は少壯時代に吉田洋吉氏を扶けて事業に専らしてゐた人で、其後平市銀治町平電業株式會社の支那人となり同會社の廣渡電機商店を開設したものである。

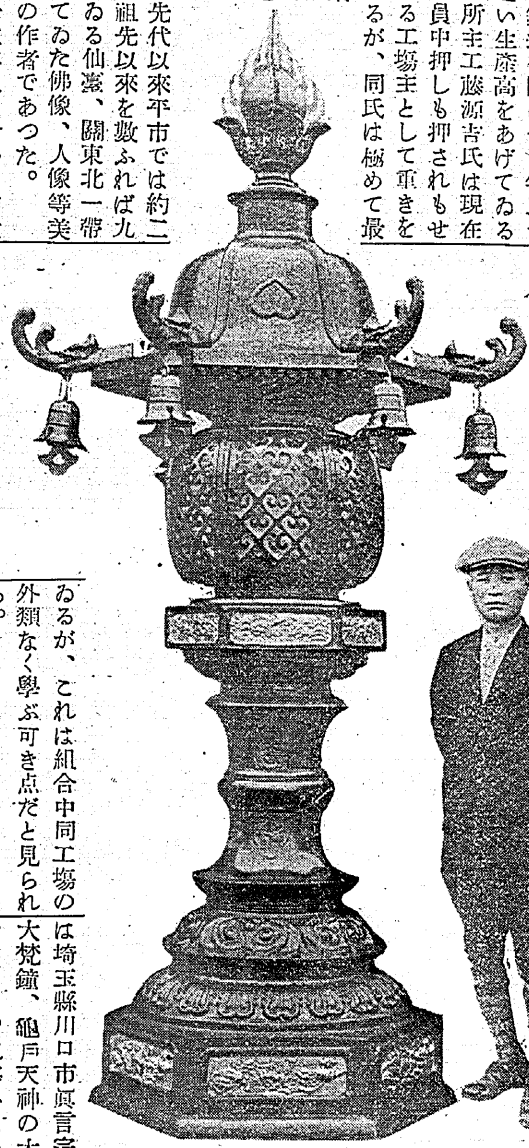
業者への利便を考慮に入れ、政府の物價抑制に對する不調の用意を怠らずに材料供給に努力を續けてゐる事は大商店益のみが成し得るものとして感謝されてゐる。

更に同店では國家非常時の産業策の線に添ふべくその振興を計らうとして、昨年来日立製作所特約店として電氣部を設置しモーター、電氣ポンプ、電動工具等の取次を行ひ炭礦方面に供給してゐたが最近では鑛山機械の取扱を開き何れも目前の利益を離れて専ら地方産業振興への寄與に努力してゐる事は地方民に大福音と言ふ可きであらう。

事業方面に於ては二三工場經營者と共に平市鐵工業者の草分けとも言ふ可き人で、遂に今日の成功を見るに至つた。設備してある諸機械中ブレイク(八尺)は平市最大のものである。製作品は鑛山用諸機械、ポンプ、捲上機水洗機、攪炭機等で一ヶ年十五萬圓に達すると言はれる。三瓶工場主は従業員と共に苦勞を共にするといふ温情に溢れた人格者であるため薄井工場長を始め工場員一同から慈父の如く仰がれてゐる。

さらば平和産業よ 憧れの藝術に名残を止めて 工藤氏重工業に轉ず

平市柳宜町一帯地三百坪に大工場を有し鑄造専門に一年二十万圓に近い生産高をあげてゐる工藤鐵工所主工藤源吉氏は現在では組合員中押しも押されぬ地位を占める工場主として重きをなしてゐるが、同氏は極めて最近重工業者への仲間入りをした人である。



(氏藤工と籠燈大ため納に神天戸龜)

工藤氏は先代以来平市では約二十年間、祖先以来を數ふれば九代を經てゐる仙臺、關東北一帯に知られてゐた佛像、人像等美術工藝品の作者であつた。去る昭和十二年八月會心の作大み液頭してゐる時ではない、國の觀音像を北海道大博覽會に出品策に順應し重工業に轉業して皇今茲に工藤氏の作品に名残りをの寫眞帖を繰り擴げ乍ら藝術への感謝状を贈られたが、時偶々國のために盡すべき秋だ」と決意を述べ、邦家のため支那事變の風雲を告げて來た意し祖先傳來九代目の天職美術を足跡を想起して見やう。松ヶに轉業した工藤氏の心境多とすので、工藤氏は「美術工藝品の工藝品作製の平和産業に名残り岡公園に舞ゆる安藤對馬守銅像べきものがある。

材料配給に 一大福音

平鐵工機械工業組合では組合員に對する材料配給の困難を計らしめる目的で理事長河田梅吉氏専務理事理事田邊忠造氏、理事西山一氏、鈴木甚藏氏、佐藤源吉氏等は數ヶ月前から主務省に福島縣鑛山用機械配給統制協議會設立の運動を續けてゐたが最近では田邊専務理事が約一ヶ月に亘つて猛運動の結果設置の曙光を見出す事が出來近く設立を見るに至るであらうと見られてゐる。

平鐵工機械工業組合事務所
平市田町
電話七六四番

鑄鉋・鑄造専門

佐藤鑄物工場

工場主 佐藤次郎
平市正月町 (電話六七二番)

目品業營

- 鑛山用諸機械
- 銅鐵材瓦斯管
- 特殊鋼板硝子
- 釘針金亞鉛板
- 金庫度量衡器
- 消火揚水唧筒
- 土木建築金物
- 鍋釜類食器具
- 輕銀珪瑯製品
- 特選スコップシヨベル
- ボールトナツトバルブ
- スパイキコック類

警城セメント株式会社
興國鋼線索株式会社
横濱鐵工製造株式会社
旭硝子株式会社
全國鋼材特約店
合名 諸橋久太郎商店
電話九番・九九番
電氣部専用電話六三一番

鑄物の代用品生る

セメント製マンホール 金貳圓各種
同 風窓網 金四十五圓各種

發賣元 野内商會

平市南町二〇
電話一一番
燒土管 在庫豊富

吸入用酸素 純度99%

- モノサシ
- ハカリ
- マ
- ス
- 器量計
- 体温器
- 寒暖計

寫眞機
材料一式

關内藥局

電話四〇番

夜間診療

性病科
花柳病科
泌尿器病科
皮膚病科
肛門病科

胃腸病科
内科

門專
院醫科腸胃性村松
(番七〇一電) 町南市平

漢方貼藥 生公華

助膜・氣管支・關節・神經痛・肺炎・ロイマチス
膜・腰痛・中耳炎・骨

濕布で名藥

平市五丁目角
山野邊藥局

用應氣電カ力強 効特に痛經神

高洋服高洋
御誂に既製品
電話三二六番